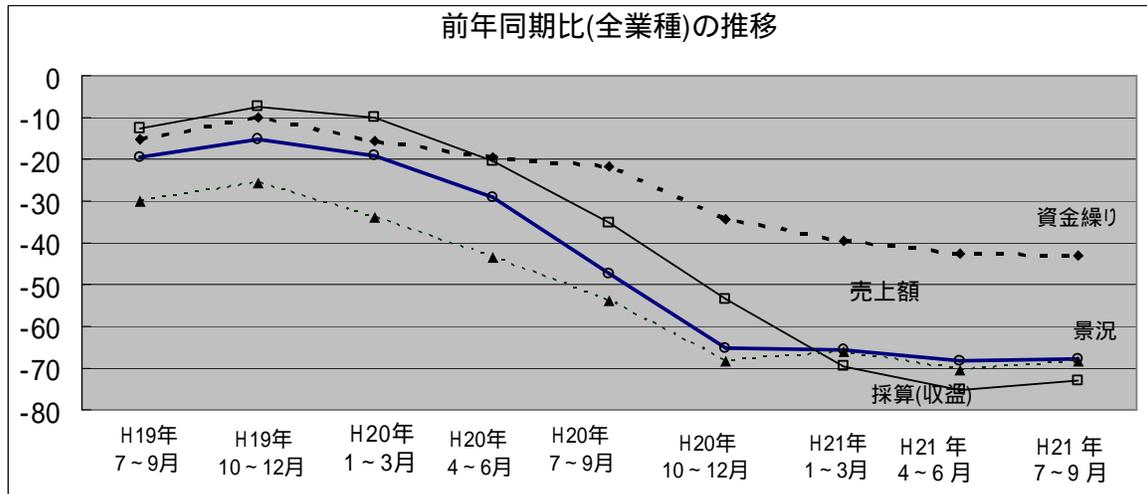


岡崎市内景況調査結果 (平成21年7～9月期分)

- ・景況DIは製造業のプラスポイントが牽引し、1年9ヶ月ぶりに僅かながら上昇に転じた
- ・来期見通しではさらに53.8ポイント増の回復を見込む



1. 調査対象

- (1) 対象企業数 本所各部会役員・幹事事業所 468企業
- (2) 回答企業数 有効回答 159企業 (回答率33.9%)

2. 調査対象時期

- 平成21年7～9月期
- (1) 前年同期(平成20年7～9月)と比べた今期の状況
- (2) 今期と比べた来期(平成21年10～12月)の先行き見通し

3. 調査時点

平成21年10月1日～平成21年10月9日

4. 調査方法

ファクシミリによるアンケート方式

5. 有効回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比
製造業	42	26.4%
建設業	37	23.3%
小売・卸売業	43	27.0%
サービス業	37	23.3%
合計	159	100.0%

6. その他

本報告書中のDIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(上昇、好転)した企業割合から、「減少」(低下、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上額で「増加」30%、「不変」50%、「減少」20%の場合のDIは、 $30 - 20 = 10$ となる。

また変化幅は、「景況」、「売上額」、「資金繰り」、「採算(収益)」のプラス幅が増加し「」であれば企業経営にとって良好になっていることを意味する。一方「原材料仕入価格」、「製品在庫」では、変化幅が「」であれば、「増加」が増えていることから、企業経営にとっては悪化したことを意味する。

市内の景況全体の概要

岡崎市内の今期(平成21年7~9月)の景況判断DIは、前年同期(平成21年4~6月)と比較し全業種で67.7と、0.7ポイントと1年9ヶ月ぶりに僅かながら好転した。

業種別では、建設業6.3ポイント、小売・卸売業0.7ポイント、サービス業9.6ポイント減少したが、製造業では自動車の在庫調整が一段落したことやエコカー減税等による自動車の増産の影響により15.4ポイント上昇した。このため、製造業が全体の景況DIをプラスポイントに牽引した。

一方、来期(平成21年10~12月)の先行き見通しについては、今期に比べて53.8ポイント増の13.9と回復を見込んでいる。中でも、製造業では71ポイント、サービス業では50ポイント以上増となっており、多数の企業が来期への景気の回復を期待していることが分かった。

全業種において現状の経営課題では、「需要の停滞」が最も多い回答となった。

【データ：全業種】

	前年同期比(前期) (H21.4-6月期)	変化幅	前年同期比(今期) (H21.7-9月期)	変化幅	来期の見通し(来期) (H21.10-12月期)
景況	68.4	0.7	67.7	53.8	13.9
売上額	75.4	2.2	73.2	46.2	27.0
資金繰り	42.7	0.3	43.0	18.0	25.0
採算(収益)	70.3	2.2	68.1	43.1	25.0

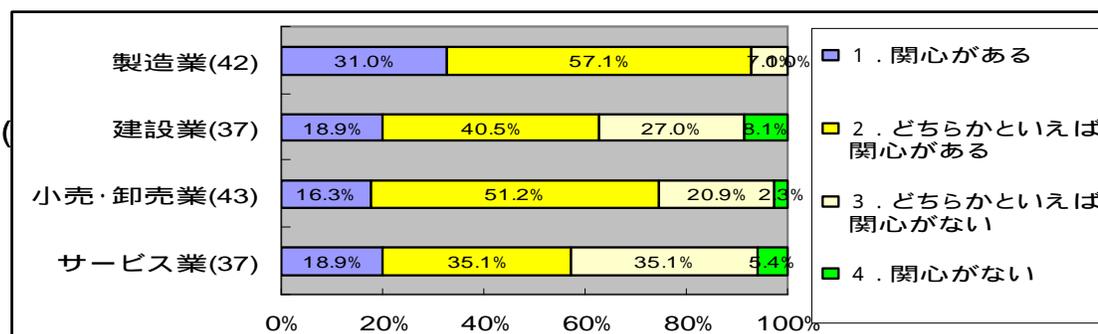
売上額は、建設業では完成工事(請負工事)額

付録：各企業への環境対策への関心内容について合わせて調査を行った。

【各企業の環境対策への関心内容？ - 付帯調査】

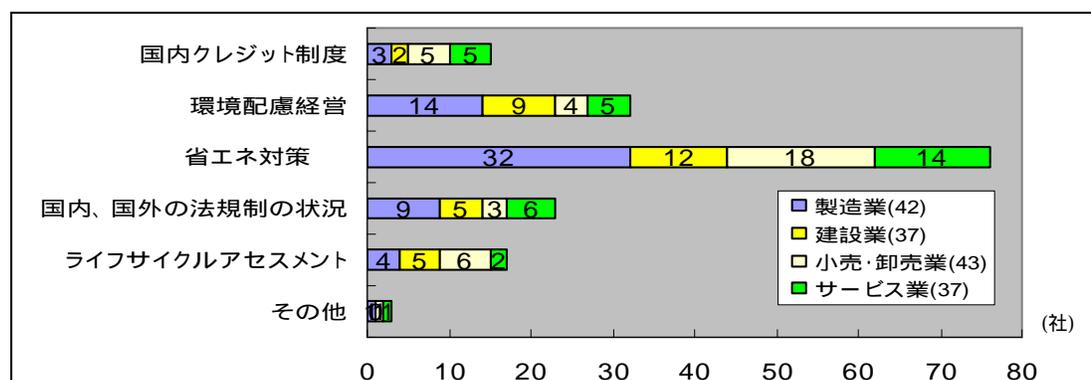
(1) 環境対策への関心について(回答企業数：159社)

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した企業は、回答企業全体の72.4%であった。



(2) 興味のある環境対策について

関心内容については、全ての業種で「省エネ対策」について最も関心が高かった。



業種別の概要

(1) 製造業

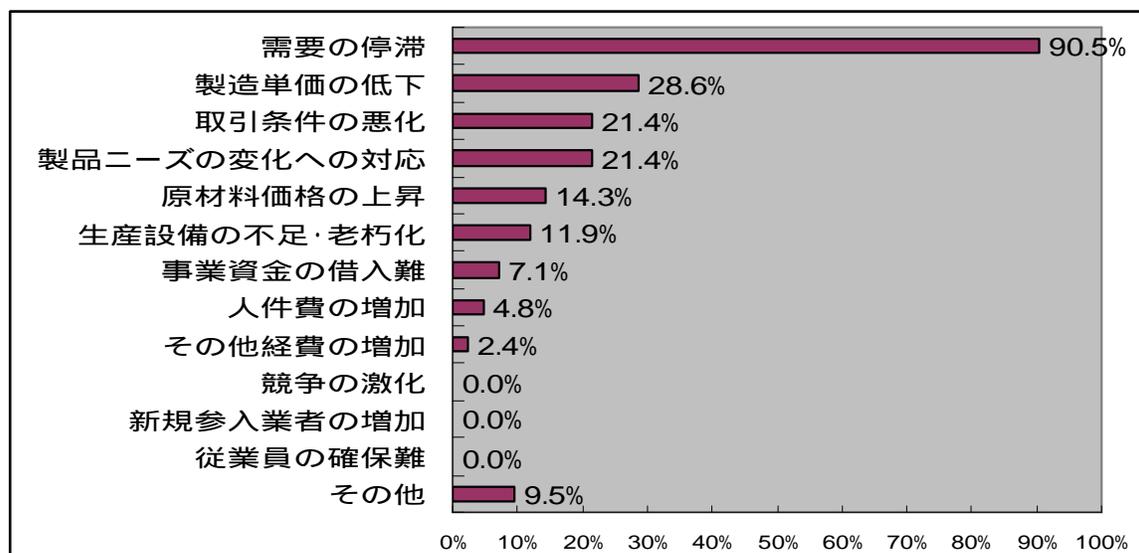
景況DIは 69.0となり、自動車の在庫調整が一段落したことやエコカー減税等による自動車の増産の影響により15.4ポイント上昇した。また売上額も増加したことから、資金繰り・収益も改善した。

来期については、全ての項目でプラスポイント増となっており、その結果、景況DIも71.4ポイント増となっており、さらに来期への回復が期待される。

【データ：製造業】

	前年同期比(前期) (H21.4-6月期)	変化幅	前年同期比(今期) (H21.7-9月期)	変化幅	来期の見通し(来期) (H21.10-12月期)
景況	84.4	15.4	69.0	71.4	2.4
売上額	88.9	7.9	81.0	88.3	7.3
原材料仕入価格	30.2	8.8	21.4	31.1	9.76
製品在庫	45.5	9.8	35.7	20.7	15.0
資金繰り	60.0	19.5	40.5	25.9	14.6
採算(収益)	88.9	17.5	71.4	61.6	9.8

【経営上の問題点】複数回答可 (回答企業数：42社)



【主な事業者の声 直面する経営課題・業界動向】

- ・エコカー減税などの影響で8割程度回復してきたが、来年度4月以降の助成期間終了後の影響が心配である(プラスチック部品製造)
- ・自動車部品関連、とりわけプラスチック製造業は原材料価格の上昇と製品単価の低下との板挟みで引き続き苦戦しています(プラスチック部品製造)
- ・受注の減少(自動車部品製造業)
- ・過剰人員(食品製造業)

(2)建設業

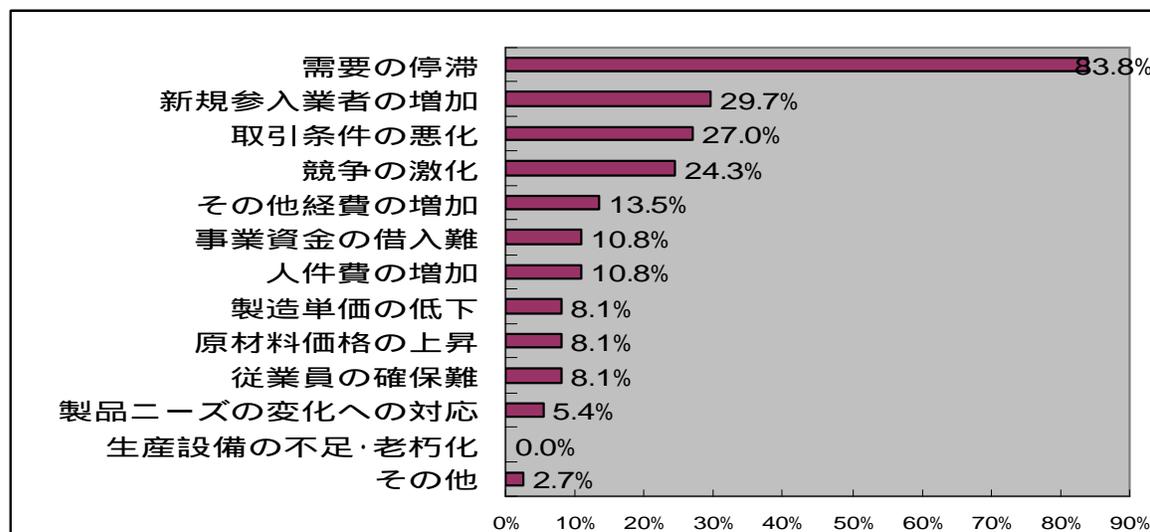
依然として景気後退による住宅着工激減と公共工事の低迷により、完成工事(請負工事)額が5.0ポイント減少したが、受注(新規契約工事)額が8.6ポイント増加、資材仕入価格の改善により採算(収益)は幾分改善されたが、景況DIは6.3ポイント減と下げ幅が縮小したものの、前期に引き続き減少している。

来期については、完成工事額、受注額が増加し、資材仕入価格は減少が見込まれることから採算15.4ポイント増となっており、景況も9.1ポイント増の63.9ポイントであった。

【データ：建設業】

	前年同期比(前期) (H21.4-6月期)	変化幅	前年同期比(今期) (H21.7-9月期)	変化幅	来期の見通し(来期) (H21.10-12月期)
景況	66.7	6.3	73.0	9.1	63.9
完成工事額	64.4	5.0	69.4	12.6	56.8
受注額(新規契約)	80.0	8.6	71.4	11.9	59.5
資材仕入価格	2.3	3.1	5.4	5.4	0
資金繰り	42.2	1.7	40.5	6.7	47.2
採算(収益)	64.4	7.8	72.2	15.4	56.8

【経営上の問題点】複数回答可 (回答企業数：37社)



【主な事業者の声 直面する経営課題・業界動向】

- ・競争過多(建設業)
- ・真っ暗闇から脱出できそう。一筋の光が小さな点の様に見えてきました。(住宅設計)
- ・受注額の減少。(建設業)
- ・下期からは少し生産量も増えると期待していたが、思った以上に増えない。資金繰りが厳しくなる(住宅メーカー)

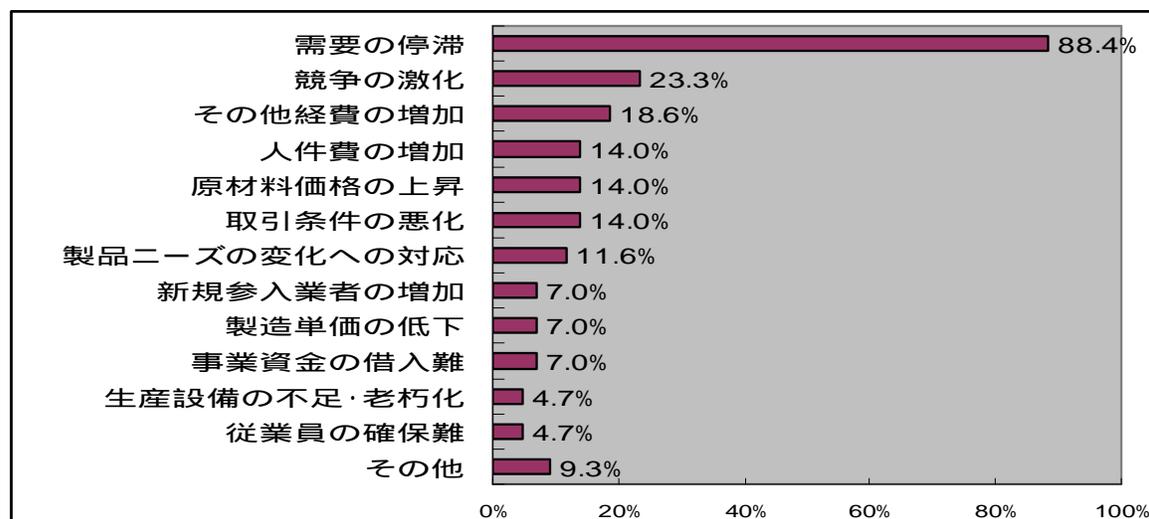
(3)小売・卸売業

商品在庫が4.8ポイント減少し、売上額は10.0ポイント増となっているが、収益は好転しなかったため、景況DIは65.1で前年同期比に比べてほぼ横ばいとなった。来期については、売上額が28.1ポイント増、採算(収益)も19.9ポイント増と好転し、景況は17.5ポイント改善し、47.6ポイントとさらにマイナス幅の縮小を見込んでおり、年末に向けて来期の消費回復に期待する企業が多いことが分かった。

【データ：小売・卸売業】

	前年同期比(前期) (H21.4-6月期)	変化幅	前年同期比(今期) (H21.7-9月期)	変化幅	来期の見通し(来期) (H21.10-12月期)
景況	64.4	0.7	65.1	17.5	47.6
売上額	84.4	10.0	74.4	28.1	46.3
商品仕入価格	9.8	2.8	7.0	2.2	4.8
商品在庫	6.8	4.8	11.6	4.5	7.1
資金繰り	35.6	1.6	37.2	3.3	40.5
採算(収益)	64.4	0.7	65.1	19.9	45.2

【経営上の問題点】複数回答可 (回答企業数：43社)



【主な事業者の声 直面する経営課題・業界動向】

- ・後継者ができるような魅力ある仕事にしないと継続していけない(洋服小売)
- ・来年1月の松坂屋撤退の影響と康生地区の地盤沈下(洋服小売)
- ・購入価格の下落(メガネ小売)
- ・仕入先廃業・倒産増の懸念(家具小売)
- ・価格競争(ガソリンスタンド)

(4) サービス業

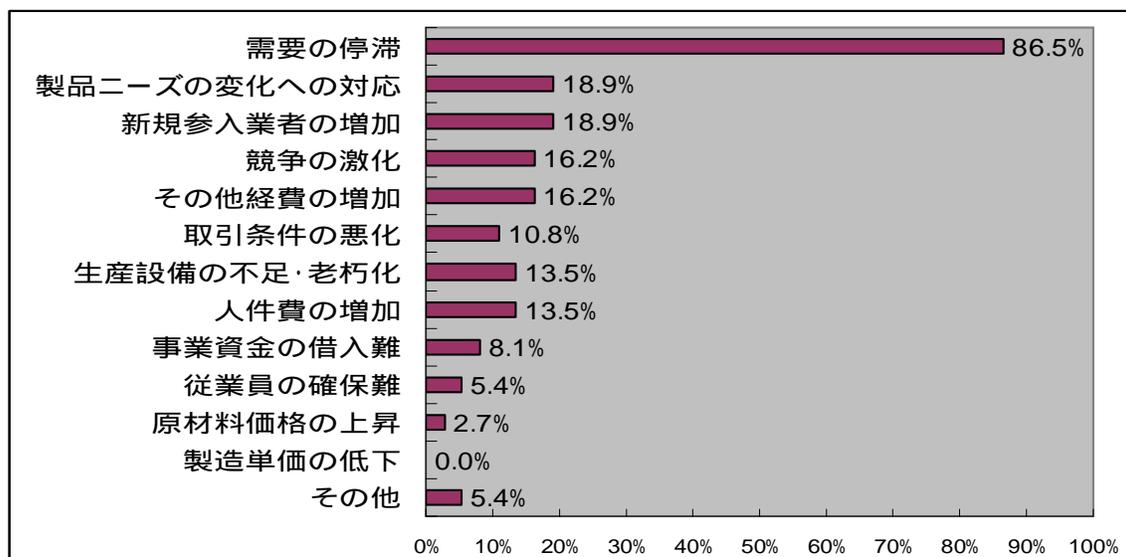
景況DIは前期と比べ9.6ポイント減の63.9となった。全ての項目で、減少・悪化が加速しており、特に資金繰りでは25.0ポイント減で、苦しい経営実態が明らかとなった。

来期の見通しは、売上をはじめ全ての項目が好転していることから、景況も50.0ポイント増となり、年末に向けて来期の消費回復に期待する企業が多いことが分かった。

【データ：サービス業】

	前年同期比(前期) (H21.4-6月期)	変化幅	前年同期比(今期) (H21.7-9月期)	変化幅	来期の見通し(来期) (H21.10-12月期)
景況	54.3	9.6	63.9	50.0	13.9
売上額	61.1	5.6	66.7	52.8	13.9
利用客数	52.8	5.5	58.3	47.2	11.1
資金繰り	30.6	25.0	55.6	30.6	25.0
採算(収益)	61.1	2.8	63.9	38.9	25.0

【経営上の問題点】複数回答可 (回答企業数：37社)



【主な事業者の声 直面する経営課題・業界動向】

- ・ 新型インフルエンザによる影響大。バス旅行キャンセル発生。(旅行業)
- ・ 取引企業様の売上が低下しているので私共の努力では限界がある。(飲食サービス業)
- ・ 将来展望のない安売り競争の顕在化。(自動車学校)
- ・ 来期は好転と記入したが、一昨年と比べると大幅ダウンの状況は変わっていません(運送業)